

米丸校下

洪水（想定最大規模）
1000年以上に1回

【浸水想定区域指定の前提となる降雨条件】
このハザードマップは**想定し得る最大規模の降雨【1,000 年以上に 1 回の降雨】**により、下記の対象河川が氾濫した場合の浸水状況を想定したものです。

- 水位周知河川
犀 川：2日間の総雨量 860mm
伏見川：2日間の総雨量 931mm
高橋川：2日間の総雨量 938mm
 - 水位周知河川以外：木呂川
流域全体に24時間で総雨量 813mm
- なお、想定最大規模を超える降雨や土砂・倒木の混入等により、浸水想定区域や浸水深が異なる場合があります。

凡 例

指定緊急避難場所

- 学校、公民館など
- 公園、広場

避難情報

- 水位観測所・水位計
- 河川カメラ
- 同報防災無線

避難経路上の危険箇所

- 橋、地下横断歩道
- 橋、アンダーパス

地図情報

- 官公庁
- 消防署・消防分団など
- 警察署・交番など
- 救護病院
- 行政境界
- 校下（地区）境界
- 主要幹線道路

危険が想定される区域

浸水想定区域・浸水の深さ

5.0m～	2階の屋根以上が浸水	最上階の部屋が浸水する場合	早期立ち退き避難
3.0～5.0m	2階部分までつかる程度		
0.5～3.0m	1階の軒下までつかる程度	最上階の部屋が浸水しない場合	早期立ち退き避難 ※注1
0～0.5m	おとなの膝までつかる程度		

注1）例外として屋内安全確保も可能。避難行動フローを確認してください。
注2）避難が危険な場合は、屋内安全確保（垂直避難）してください。

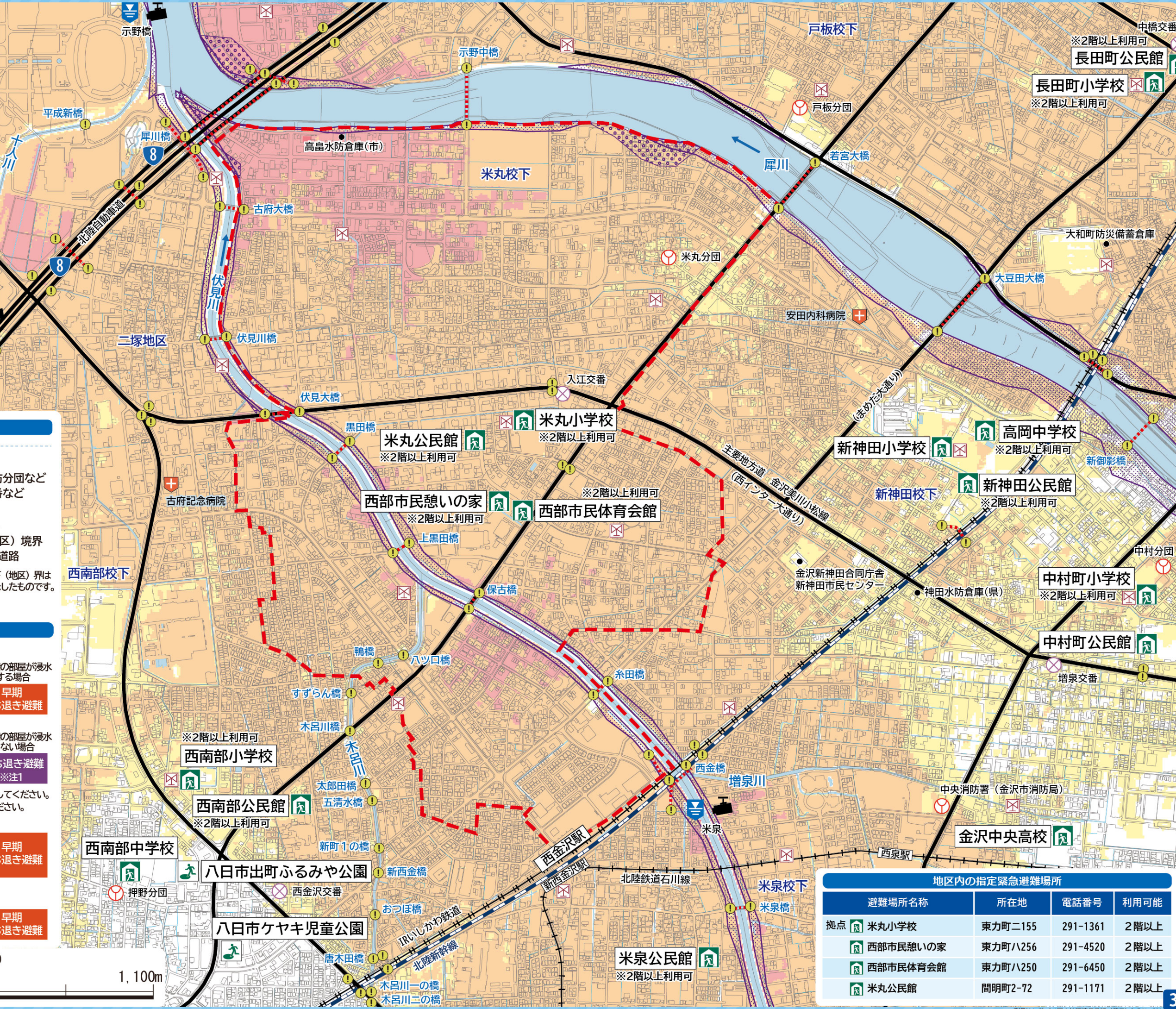
建物が倒壊・流出する恐れがある区域

- 河岸侵食が想定される区域 → 早期立ち退き避難
- 氾濫流が想定される区域 → 早期立ち退き避難

土砂災害

土砂災害特別警戒区域

- 土砂災害警戒区域 → 早期立ち退き避難



地区内の指定緊急避難場所			
避難場所名称	所在地	電話番号	利用可能
拠点 米丸小学校	東力町二155	291-1361	2階以上
西部市民憩いの家	東力町ハ256	291-4520	2階以上
西部市民体育会館	東力町ハ250	291-6450	2階以上
米丸公民館	間明町2-72	291-1171	2階以上



米丸校下

洪水（計画規模）
50～100年に1回程度

【浸水想定区域指定の前提となる降雨条件】

このハザードマップは概ね 50～100 年に1回程度の降雨により、下記の対象河川が氾濫した場合の浸水状況を想定したものです。

- 水位周知河川
- 犀川：2日間の総雨量 314mm
 - 伏見川：2日間の総雨量 240mm
 - 高橋川：2日間の総雨量 240mm

なお、計画規模を超える降雨や土砂・倒木の混入等により、浸水想定区域や浸水深が異なる場合があります。

凡例

指定緊急避難場所

- 学校、公民館など
- 公園、広場

避難情報

- 水位観測所・水位計
- 河川カメラ
- 同報防災無線

避難経路上の危険箇所

- 橋、地下横断歩道
- 橋、アンダーパス

地図情報

- 官公庁
- 消防署・消防分団など
- 警察署・交番など
- 救護病院
- 行政境界
- 校下（地区）境界
- 主要幹線道路

注）表示されている校下（地区）界はおおよその範囲を示したものです。

危険が想定される区域

浸水想定区域・浸水の深さ

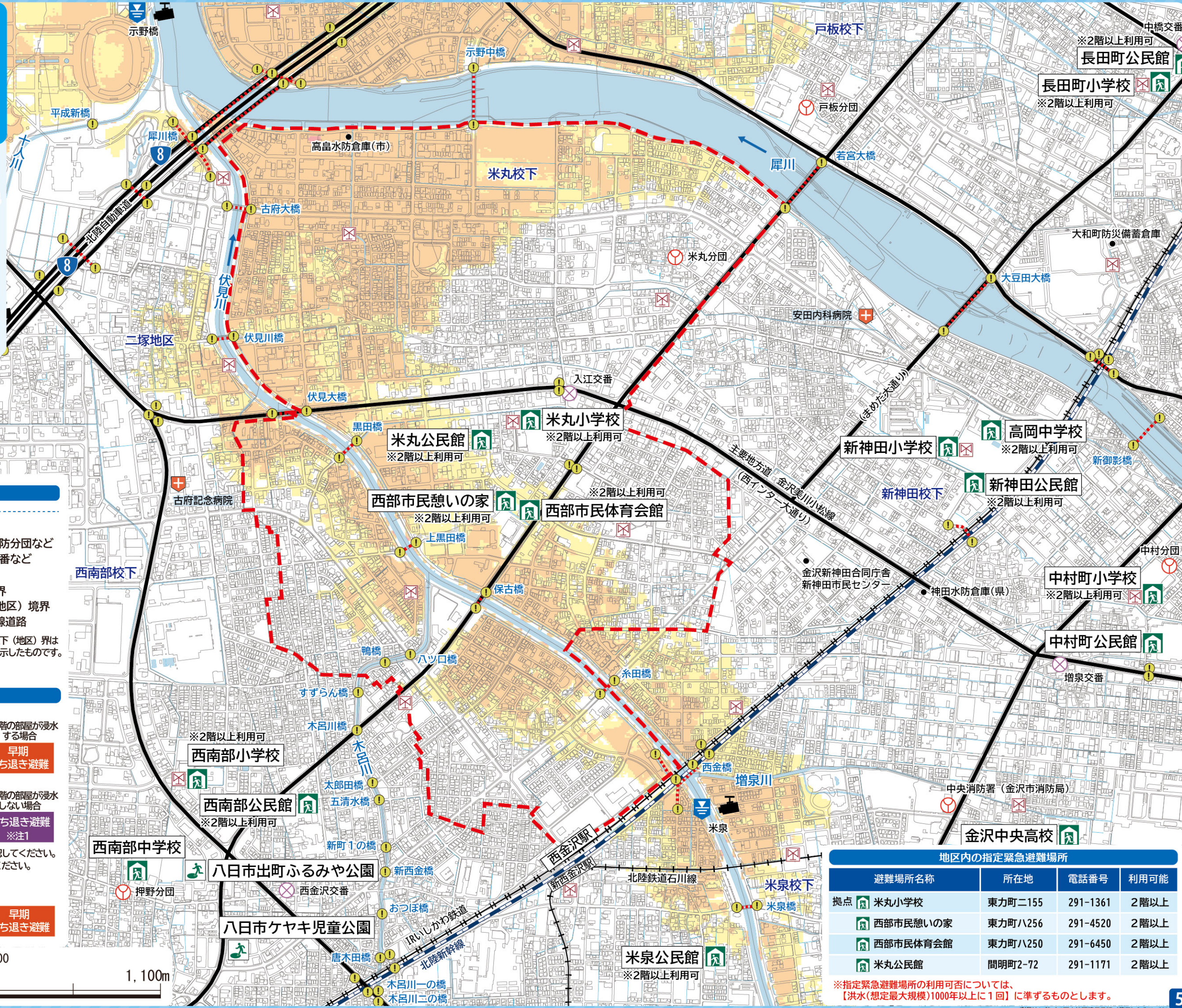
5.0m～	2階の屋根以上が浸水	最上階の部屋が浸水する場合	早期立ち退き避難
3.0～5.0m	2階部分までつかる程度		
0.5～3.0m	1階の軒下までつかる程度	最上階の部屋が浸水しない場合	早期立ち退き避難 ※注1
0～0.5m	おとなの膝までつかる程度		

注1）例外として屋内安全確保も可能。避難行動フローを確認してください。
注2）避難が危険な場合は、屋内安全確保（垂直避難）してください。

土砂災害

土砂災害特別警戒区域

早期立ち退き避難



地区内の指定緊急避難場所			
避難場所名称	所在地	電話番号	利用可能
拠点 米丸小学校	東力町2155	291-1361	2階以上
西部市民憩いの家	東力町ハ256	291-4520	2階以上
西部市民体育会館	東力町ハ250	291-6450	2階以上
米丸公民館	間明町2-72	291-1171	2階以上

※指定緊急避難場所の利用可否については、
【洪水（想定最大規模）1000年以上に1回】に準ずるものとします。

米丸校下

なお、想定最大規模を超える降雨や土砂・倒木の混入等により、浸水想定区域や浸水深が異なる場合があります。

